

令和2年 飯田市教育委員会5月定例会会議録

令和2年 5月13日(木) 午後3時 開会

【出席委員】

教育長	代田 昭久
教育長職務代理者	北澤 正光
教育委員	伊藤 昇
教育委員	三浦 弥生
教育委員	上河内 陽子

【出席職員】

教育次長	今村 和男
地域人育成担当参事兼生涯学習・スポーツ課長	青木 純
学校教育課長	桑原 隆
学校教育専門幹	湯本 正芳
文化財担当課長	馬場 保之
市公民館副館長	秦野 高彦
中央図書館長	瀧本 明子
美術博物館副館長	久保敷 武康
歴史研究所副所長	北原 香子
学校教育課長補佐	滝沢 拓洋

日程第1 開 会

○教育長（代田昭久） それでは改めまして皆さんこんにちは。ただいまより令和2年飯田市教育委員会5月定例会を開会いたします。

日程第2 会期の決定

○教育長（代田昭久） 日程第2、会期の決定、今月の定例会、会期は本日1日とさせていただきます。よろしくお願いいたします。

日程第3 会議録署名委員の指名

○教育長（代田昭久） 日程第3、会議録署名委員の指名、今月の会議録署名委員は、北澤正光教育長職務代理者をお願いいたします。

◇教育長職務代理者（北澤正光） はい。

○教育長（代田昭久） よろしくをお願いいたします。

日程第4 会議録の承認

○教育長（代田昭久） 日程第4、会議録の承認、4月定例会の会議録のほう修正等ございませんでしょうか。

（発言する者なし）

○教育長（代田昭久） それでは、ご確認のほどよろしくお願いいたします。

日程第5 教育長報告事項

○教育長（代田昭久） 日程第5、教育長報告事項。

それでは、私のほうからいつものとおりレジュメにしたがってお話をさせていただきたいと思います。

まずは、本当にこの間、今年度4月からも含めて臨時の教育委員会を開かせていただき、それぞれの対応についてご判断いただき、またアドバイスいただいたことに感謝申し上げたいなというふうに思います。本当に実感値として先行きが見えないので、一週間毎の判断とか、休校また開校、臨時的登校はどうあるべきか、なかなか先行きが見通せない中でも、ここまで決して順調とは言えませんが、大きな混乱もなく進めてきているんじゃないかなというふうに思います。その点においては、本当に教育委員会の皆様、教育委員の皆さんにお力

添えをいただいていることに改めて感謝を申し上げたいなと思います。ありがとうございます。

今後も多分こんな状況が続くんだろうなあとというふうに思います。今、有識者の言うように「必ず第2波、第3波が来ます」ということもあります。その前にどのくらい通常の学校生活に戻せばいいのか、ここら辺の判断は非常に難しいことになると思います。引き続き、また臨時の教育委員会も開催することになるかと思いますが、ご協力のほうをよろしく願います。

2番目、学校訪問を現在行っています。例年ですと第1回の校長面談及び新しく赴任された先生方、また新任の学校の先生方もいらっしゃいましたので、その4月冒頭にそういった授業、また校長面談をすることを行ってできたわけですが、今年度は少し授業を通常通り行っていないという部分もありますけれども、校長先生方とコロナへの対応や苦慮していることなどの協議を中心に行っています。

また、5月に入ってからには臨時的登校を行っているところで、子供たちの様子、また、小学校場合は受け入れをしていますので、受け入れの状況などを見て、現状把握に努めているところであります。

その中で、非常に困難な状況ではあるんですけども、新しい芽生えというか、新しい教育の芽生えも感じている部分があるので共有したいなというふうに思いますが、もう通常のいわゆる学校で1000コマ行っている授業時間数がなかなか確保できないというふうな状況の中で、やはり家庭学習とどう連携していくのかというのが学校の大きな課題であるし、知恵の絞りどころだろうなというように思います。その中で北澤職務代理のほうからもありましたけど、予習的な宿題のあり方や各学校で授業をどう連携したような出し方というのは研究され始めているなというふうに思います。

少しちょっと資料を付けましたので、2枚目にある裏表の資料です。これは伊賀良小学校の学校で配られている資料を拝借させていただきました。校長会のほうで反転授業の概念を私より説明させていただきましたが、それを学校の中で共有しながら、タブレットがない中で、どんなふうな反転的な授業ができるかということで、後ろをめぐってもらって、これが、今、伊賀良小学校で例えばで考えている反転的な授業のイメージですけども、下の表を見ていただくと、今、臨時登校が5月、今日まさに13日ですが、授業日があつて家庭待機、授業日があつて家庭待機、授業日、こういうリズムを非常に上手く活用して自宅待機の間では個人の研究をしていこうと、それで個人の研究をして、授業をやった時には全体の追求、まとめをして、さらに課題の把握をすることによって自宅にいる間にその個人の研究ができ

る。こういうサイクルをつくっていきこうということで、基本的に国語と算数でやっていきこうというような話をしたら、先生が非常に前向きに反応で取り組んでいただいているという話を聞いています。

また紙に戻っていただいて、これは高陵中学校なんですけれども、今までの家庭学習ではなくてプロスタ、プロジェクトスタディということで、自分で考えて取り組む宿題とマストスタディ、マストですね。必ず教科として取り組まなければいけない宿題の組み合わせによって家庭学習を工夫していきこうと、そういった形での家庭学習と連動した授業のあり方っていうのを、本当に短い時間の中でどうやるかということは大切だと、大切だとずっと言われ続けてたんですが、このコロナの機会にそういったものを一気に進めれるなあという実感を持っています。

また、和田小学校、上村小学校では、オンラインでの学活等が行われ始めています。インターネットを通じて授業を見るというのは本当に、今、いろんな様々な民間企業の動画も出ていますし、県の教育委員会からも動画が出ているんですが、それよりもこのICTの有効性というのは顔を見てつながっているという、そのプロトコルのつながり、ICTでもかなりできるんだということが大事なあってということを先生たちのほうも実感をしています。

確かに先日、上村小学校、飯田市内に集まって、要はスクールバスで行く子がここに集まって、上村の本校とつないでやりましたけれども、顔がしっかり全員が見れるので、むしろスクールスタイルよりは全校が見えるという意味でいうと顔の表情が見える。で、そのつながりになっていくこと、インターネットでつないでいるということが、顔がよく見れている声もしっかり聞けるという意味では本当に子供たちを心身に健全に関しては大きな役割を示しているなというふうに思っています。

実際には、タブレットが全員動くわけではなくて、ご家庭のスマホを使っているところもあるんですが、今後も要はICTを進めることによって、これはすごくモデルになってくし、ノウハウの蓄積になるなあというふうに思っています。

また、今、言い方を変えれば生徒全員が学校に来れない状況なので、不登校の子供たちにとっては学校へ行く機会が少ないということで、少し足は前向きになる機会にもなっていると、また、今、公民館等で児童を受け入れている。そういったところに今まで不登校だった子供が来るという形になると、学校としても来なくてはいけないという今までの不登校の子供たち、不登校の子供たちというよりは学校に馴染めない、ハードルの高いところの子供たちがこれを機に少し自分のステップアップの場所とか考え方というのが柔軟になる可能性もあるかなとそんなことも感じています。

その一方で今後は、対応しなくてはいけない課題がそれ以上にあるわけですが、学校の先生方が話していて、やはり大変だなと思うのが臨時的な登校を行っても「こんな時に何で登校をさせるんですか」という反応があって、実際には臨時的な、休校ですので休んでももちろん良いんですけれども、臨時的な登校でも出席をしないという保護者が各学校にやはりいます。一定程度います。

その一方で「早く再開して給食を出してほしいし、しっかり見てほしい」と「授業をしてほしい」という声もあって、学校現場は、その両方の価値観や意見の違いに関して悩んでいるところはあるし、それは教育委員会も同じですけれども、ちゃんと丁寧な説明をしていくということが第一必要なんだろうな、そんなふうに思います。

また、生活のリズムが整っていない児童生徒がいるということもお聞きします。そこは残念ながら家庭環境にもよるんだろうと思いますけれども、そこには様々な状態になっていて、今後心配され得るのは、通常の日常生活が始まった時に、朝しっかりと起きて、それでも家庭学習をしっかりとやっていた子供と、昼夜逆転のような状況の子供たちがいきなり通常の生活になった時に、その変化に対応できない子供たちも多いんだろうとそんなふうに思いますので、今後の話は、そういった児童の心のケアとともに日常生活の劇的な変化っていうことも課題かなあと考えています。

また、学校独自としては、切実な問題として学習指導要領の中の学習時間をしっかりと確保すること、でも、既に何十時間分取り返せないで、どうしても発想としては行事をなくす。総合的な時間とか学習指導要領に明記されていないようなものについては、どんどん優先順位が下がる傾向にあります。

ただそれは私も校長会でもお話しているんですけれども、授業時間数の確保に目的になってしまうと、もっと子供たちが大切にしている、やっぱり様々な行事で育む力っていうのは非常に大事なので、行事をすべて止めて1日7時間、8時間授業をすればいいという問題ではないと思うんですが、ただ現場の中では「じゃあどうするんだ」ということで、現実的にはこの臨時登校期間中もかなり授業をやっているという現実もあったりします。ここら辺のバランスが非常に難しいなあというふうに思いながらも、ただやっぱり我々としては子供たちを真ん中において、子供たちにどういうふうにやったらいいのか、ここは常に忘れちゃいけないなあというふうに感じているところであります。

裏面じゃなくて3番目、5月1日に臨時の議会が行われ、補正予算が教育関係で承認されましたのでご報告をさせていただきます。その前に、事前にご説明は臨時の教育委員会で説明させていただきましたが、こういった非常事態ですので、3ページをめくってください。

今、こういった危機的な状況の中で子供たちのつながり、そして学力の保証、この2点が重大な課題だというふうに認識をしています。そのために子供たちと学校をつなげるため、そして子供たちの学びを保証するために何ができるのかと考えて、その支援策に予算を付けています。

具体的には子供たちが、保護者との定期的やりとりができる。また、家庭学習を充実させることができるということで、すべての子供たちにタブレット端末を配布する予算を計上しています。6,500万円余になります。これは今まで不足していたタブレット端末の代金、充電器他、ウェブカメラ、USBマイク等の予算になります。

それでもう1つは、家庭学習を1人ではなかなかできない、モチベーションが上がらない、どうやっていいかわからないという児童・生徒がいることも現実的ですので、比較的1人でも学べる英語教材の導入や、また、ケーブルテレビやFM放送を使って、飯田市独自の学校をつくっていかうということを考え、その予算を計上させていただいています。あわせて、校外学習の延期になってキャンセル代が発生しますので、その予算も計上して承認をされました。

最後、これ第1弾というふうに捉えています。今後、子供たちのためにこういう役割・手立て・対策が必要だ。支援が必要だということであれば、繰り返しになりますが非常事態ですので、どんな手を打っても子供たちの学びと安全を守っていきたいなあというふうに思っております。

学校現場でもそんな意見を聞きたいと思いますし、委員の皆さんも「こういうのがあったら助かるんじゃないかな」そんな案がありましたら、ぜひご提案をいただければ検討もしてみたいというふうに思います。

いずれにしろコロナ感染症拡大に対しては、長い戦いだと思います。委員の皆さんには引き続きお力添えをよろしく申し上げます。

私のほうからの報告事項は、以上です。

何かご質問・ご意見はありますか。

よろしいでしょうか。

(発言する者なし)

日程第6 議案審議（5件）

○教育長（代田昭久） それでは、日程第6、議案審議、今月の議案審議は12件ございます。よろしくお願いたします。

議案第44号 飯田市結核対策委員会委員の任命について

○教育長（代田昭久） まず、議案第44号「飯田市結核対策委員会委員の任命について」をお願いします。

桑原学校教育課長、お願いします。

◎学校教育課長（桑原 隆） それでは、議案第44号「飯田市結核対策委員会委員の任命について」お願いをいたします。

飯田市結核対策委員会条例第4条第2項の規定に基づきまして、下記記載の者を飯田市結核対策委員会委員に任命したいというものでございます。

委員の氏名、住所、役職それから備考となる選出区分につきましては、ごらんとおりでございます。

小中学校における結核対策の方針を定めるに当たりまして、専門的な意見を徴するため規定により関係機関から6人の委員を選出し任命したいとするものでございます。

任期につきましては、令和3年3月31日までというふうにしております。

以上でございます。

よろしく願いいたします。

○教育長（代田昭久） ただいま、議案第44号の説明がありました。何か質問、ご意見等ありませんでしょうか。

伊藤委員、お願いします。

◇教育委員（伊藤 昇） 結核対策委員会、わかる範囲で良いんですけど、どんなことをされるんですか。今、コロナウイルスのことがあるんで気になりました。

○教育長（代田昭久） はい、ありがとうございます。

桑原学校教育課長、お願いします。

◎学校教育課長（桑原 隆） 具体的な委員会の活動につきましては、ちょっと確認してみないとわからないというところなんですけども、学校の中における結核対策の方針を定めるということでこの6人の方々に委員会を開いていただいて相談をさせていただいているという状況というふうにはお聞きしております。

今、答えられるのはこの程度でございます。

◇教育委員（伊藤 昇） 次回もう少し詳しいところがわかったら教えていただきたいと思います。

○教育長（代田昭久） はい、ご指摘ありがとうございます。

確かにコロナウイルスと合わせて考えてみると、今回の感染症に対するヒントがあるかも

しませんので、次回じゃあご説明ということでお願いします。

他に、ご意見・ご質問ありませんでしょうか。

今、ご質問がありましたが、内容については来月、説明ということで議案に関してはご承認ということでよろしいでしょうか。

(発言する者なし)

○教育長（代田昭久） はい、ありがとうございます。

議案第45号 飯田市就学相談委員会の任命について

○教育長（代田昭久） 続きまして、議案第45号「飯田市就学相談委員会委員の任命について」をお願いします。

桑原学校教育課長、お願いします。

◎学校教育課長（桑原 隆） それでは議案第45号「飯田市就学相談委員の任命について」でございます。

同条例第4条の規定で委員の任期は2年ということになっておりまして、昨年度、20人の委員を任命していただいておりますが、今回、この4月の人事異動により欠員が生じたため任命3人ですがしたいというものでございます。

この飯田市就学相談委員会は、飯田市教育委員会の附属機関ということで児童・生徒・幼児の就学に関する調査・審査等を行っていただいておりますが、令和元年度には108人について就学判断を行っていただきました。

委員の氏名・所属・職名等につきましては、ごらんとおりでございます。

任期につきましては、前任者の残任期間である令和3年3月31日までとしています。

以上でございます。よろしく申し上げます。

○教育長（代田昭久） はい、ありがとうございます。

ただいま議案第45号の説明がありましたけれども、何かご質問、ご意見等ありますでしょうか。

よろしいでしょうか。

(発言する者なし)

○教育長（代田昭久） それでは、議案第45号、承認ということでよろしく願いいたします。

議案第46号 飯田市小中連携・一貫教育推進委員会委員の任命について

○教育長（代田昭久） 続きまして、議案第46号「飯田市小中連携・一貫教育推進委員会委員の

任命について」をお願いします。

桑原学校教育課長、お願いします。

◎学校教育課長（桑原 隆） それでは議案第46号をお願いいたします。

「飯田市小中連携・一貫教育推進委員会委員の任命について」でございます。

飯田市小中連携・一貫教育推進委員会要綱第3条第2項の規定により、記載の者を飯田市小中連携・一貫教育推進委員に任命したいというものでございます。

小中連携・一貫教育の指導体制及び教育環境、教育課程に関する事項の方針の策定及び全体調整等を行うため18名の委員を任命したいものでございます。

任期につきましては、1年間となります。

以上でございます。よろしくお願いいたします。

○教育長（代田昭久） はい、ありがとうございました。

ただいま、議案第46号の説明がありました。ご質問、ご意見等ありますでしょうか。

よろしいでしょうか。

（発言する者なし）

○教育長（代田昭久） それでは承認ということでよろしくお願いいたします。

議案第47号 学校運営協議会委員の任命について

○教育長（代田昭久） 続きまして、議案第47号「学校運営協議会委員の任命について」をお願いします。

桑原学校教育課長、お願いします。

◎学校教育課長（桑原 隆） 議案第47号、「学校運営協議会委員の任命について」でございます。

学校運営協議会の委員につきましては、前回の教育委員会定例会で任命をしていただいておりますが、緑ヶ丘中学校から1名追加ということで学校長から推薦がありましたので、規則第7条第1項の規定によりまして、任命をいたしたくご提案をいたします。

任期につきましては、令和3年3月31日までとなります。

以上でございます。よろしくお願いいたします。

○教育長（代田昭久） はい、ありがとうございました。

ただいま、議案第47号の説明がありました。何かご質問、ご意見等ありますでしょうか。

よろしいでしょうか。

（発言する者なし）

○教育長（代田昭久） それでは議案第47号、承認ということでよろしくお願ひいたします。

議案第48号 飯田市社会教育委員の任命について

○教育長（代田昭久） 続きまして、議案第48号「飯田市社会教育委員の任命について」お願ひ
します。

青木地域人育成担当参事、お願ひします。

◎地域人育成担当参事（青木 純） 議案第48号「飯田市社会教育委員の任命について」でござ
います。

飯田市社会教育委員条例第2条及び第3条の規定により、下記の者を飯田市社会教育委員
に任命するというところでございますが、こちらは全体で12名の委員で任期が2年というこ
とで昨年度着任いただいたものでございますが、この度、校長会からの推薦の委員2名が役
員改選に伴って新しく新任ということで今回任命させていただきたいということでござい
ます。

○教育長（代田昭久） はい、ありがとうございます。

ただいま、議案第48号の説明がありました。何かご質問、ご意見等ありますでしょうか。
よろしいでしょうか。

（発言する者なし）

それでは議案第48号、承認ということでよろしくお願ひいたします。

議案第49号 飯田市青少年育成推進委員の任命について

○教育長（代田昭久） 続きまして、議案第49号「飯田市青少年育成推進委員の任命について」
お願ひします。

青木地域人育成担当参事、お願ひします。

◎地域人育成担当参事（青木 純） 議案第49号「飯田市青少年育成推進委員の任命について」
ということで、飯田市青少年育成センター設置要綱の規定によって任命ということでござい
ますが、こちらの任期は2年。9名の委員でございますが、今回、飯田市少年警察ボランテ
ィア協会からの推薦者が、人事異動に伴って新任ということで推薦をされましたものでござ
います。

以上でございます。

○教育長（代田昭久） はい、ありがとうございます。

ただいま、議案第49号の説明がございました。ご質問、ご意見等ありますでしょうか。

それでは、承認ということによろしいでしょうか。

(発言する者なし)

○教育長（代田昭久） ありがとうございます。

議案第50号 飯田市スポーツ推進審議会委員の任命について

○教育長（代田昭久） 続きまして、議案第50号「飯田市スポーツ推進審議会委員の任命について」をお願いします。

青木地域人育成担当参事、お願いします。

◎地域人育成担当参事（青木 純） 議案第50号「飯田市スポーツ推進審議会委員の任命について」でございます。

飯田市スポーツ推進審議会条例の規定により、下記の者を飯田市スポーツ推進審議会の委員に任命するということとして、こちら全体が11名の委員で任期が2年、それからですが、飯田市教頭会、それから飯田市連合婦人会からの推薦が役員改選に伴って新しく推薦をいただいたというものでございます。

以上でございます。

○教育長（代田昭久） はい、ありがとうございました。

ただいま、議案第50号に関する説明がありました。ご質問、ご意見等ありますでしょうか。

よろしいでしょうか。

(発言する者なし)

○教育長（代田昭久） それでは議案第50号、承認ということによろしくお願いいたします。

議案第51号 学校体育施設開放運営委員会委員の任命について

○教育長（代田昭久） 続きまして、議案第51号「学校体育施設開放運営委員会委員の任命について」をお願いします。

青木地域人育成担当参事、お願いします。

◎地域人育成担当参事（青木 純） 議案第51号「学校体育施設開放運営委員会委員の任命について」についてでございますが、こちら飯田市立学校体育施設開放に関する規則に基づきまして、現在、伊賀良地区と松尾地区の2地区に置かれているものでございますが、伊賀良地区の伊賀良小学校、旭ヶ丘中学校につきましては、こちら任期は2年とされておりまして、それぞれ人事異動に伴って今回新任をするというものでございます。

それから、松尾地区の緑ヶ丘中学校と松尾小学校については、この度、1年間の任期という
ことで改めて新任していくというものでございます。

松尾地区については1年間ということで、伊賀良地区については2年間の内の残りの1年
間ということでございまして、任期を令和3年の3月31日までとするものでございます。

以上でございます。

○教育長（代田昭久） はい、ありがとうございました。

ただいま、議案第51号の説明がありました。ご質問、ご意見等ありますでしょうか。

それでは、承認ということでよろしいでしょうか。

◎地域人育成担当参事（青木 純） よろしいでしょうか。

○教育長（代田昭久） はい。

◎地域人育成担当参事（青木 純） 訂正を失礼します。

こちらでございまして、資料の誤記がございまして申し訳ございません。訂正をお願いし
たします。

松尾小学校につきまして、松尾小学校長が城下純子となっておりますが、正しくは城田と
いうことでこちら誤記がございました。申し訳ございません。訂正をお願いします。

○教育長（代田昭久） はい、松尾小学校の施設開放委員の委員の名前で、城下ではなく城田です
ね。名前の訂正をお願いします。

ただいま、名前の訂正がありましたけれども、他にご質問、ご意見等ありませんでしょ
うか。

それでは承認ということでよろしいでしょうか。

（発言する者なし）

○教育長（代田昭久） はい、ありがとうございます。

議案第52号 飯田市立図書館協議会委員の任命について

○教育長（代田昭久） 続きまして、議案第52号「飯田市立図書館協議会委員の任命について」
をお願いします。

瀧本中央図書館長、お願いします。

◎中央図書館長（瀧本明子） はい、お願いします。

議案第52号、「飯田市立図書館協議会委員の任命について」でございます。

飯田市立図書館条例第12条の規定により下記の者を飯田市図書館協議会の委員に任命し
たいとするものでございます。

現在の委員は昨年度と今年度の2年間の任期ですが、教頭会から選出されております2名の方が昨年度末に人事異動等で離任されましたので、新たに記載の2人を任命したく提案するものでございます。

任期は前任者の残任期間である令和3年3月31日までといたします。

お願いいたします。

○教育長（代田昭久） はい、ありがとうございました。

ただいま、議案第52号の説明がありました。ご質問、ご意見等ありますでしょうか。
よろしいでしょうか。

（発言する者なし）

○教育長（代田昭久） それでは、議案第52号、承認ということでよろしく申し上げます。

議案第53号 飯田市美術博物館協議会委員の任命について

○教育長（代田昭久） 続きまして、議案第53号「飯田市美術博物館協議会委員の任命について」
申し上げます。

久保敷美術博物館副館長、申し上げます。

◎美術博物館副館長（久保敷武康） それでは、議案第53号についてご説明いたします。

「飯田市美術博物館協議会委員の任命について」でございまして、飯田市美術博物館条例第14条の規定により、協議会委員を任命したいというものでございまして、これまでに7名の方の任命についてご承認をいただいておりますが、今回、学識経験者として備考欄記載の組織等からご推薦いただきました3名の方を任命とさせていただきたいというものでございます。お名前住所は記載のとおりで、任期は令和4年3月31日まででございます。

以上、よろしくお願いいたします。

○教育長（代田昭久） はい、ありがとうございました。

ただいま、議案第53号に対する説明がありました。ご質問、ご意見等ありますでしょうか。

よろしいでしょうか。

（発言する者なし）

○教育長（代田昭久） それでは、議案第53号、承認ということでよろしく申し上げます。

議案第54号 飯田市美術博物館評議員の任命について

○教育長（代田昭久） 続きまして、議案第54号「飯田市美術博物館評議員の任命について」お

願います。

久保敷美術博物館副館長、願います。

◎美術博物館副館長（久保敷武康） それでは議案第54についてご説明いたします。

「飯田市美術博物館評議員の任命について」でございまして、飯田市美術博物館条例施行規則第5条の2の規定によりまして、美術部門の評議員の任命をしたいものとするものでございます。

令和元年度に2年の任期で評議員を任命しておりますけれども、評議員1名の方が任期途中で離任をされましたので、新たに任命を依頼するものであります。

お名前・住所・所属等は記載のとおりでございまして、任期は前任者の残任期間で令和3年3月31日まででございます。

以上よろしく願います。

○教育長（代田昭久） はい、ありがとうございます。

ただいま、議案第54号の説明がありました。ご質問、ご意見等ありますでしょうか。よろしいでしょうか。

（発言する者なし）

○教育長（代田昭久） それでは、議案第54号、承認ということでよろしく願います。

議案第55号 飯田市歴史研究所協議会委員の任命について

○教育長（代田昭久） 続きまして、議案第55号「飯田市歴史研究所協議会委員の任命について」願います。

北原歴史研究所副所長、願います。

◎歴史研究所副所長（北原香子） それでは、議案第55号について願います。

始めに訂正をお願いしたいと思いますが、提案理由のところは飯田市長会とございますけれども、教頭会の誤りでございまして申し訳ございませんでした。

本案は、飯田市歴史研究所条例第7条によってございまして、飯田市歴史研究所協議会の委員を任命したいというものでございます。

任期満了によりまして、これまでに協議会委員5名のご承認をいただいております。今回、所属団体から選出いただいた2名の方と歴史研究所の研究部と関りをもつ地区のうち1名を選出していただき任命したいとするものでございます。お名前と所属は議案に記載のとおりでございます。

任期は、令和4年3月31日までの2年間になっております。

以上よろしくお願ひいたします。

○教育長（代田昭久） はい、ありがとうございました。

ただいま、議案第55号の説明がありました。ご質問、ご意見等ありますでしょうか。
よろしいでしょうか。

（発言する者なし）

○教育長（代田昭久） それでは、議案第55号、承認ということによろしくお願ひいたします。

以上で今月の議案審議を閉じさせていただきたいと思います。

ありがとうございました。

日程第7 協議事項

○教育長（代田昭久） 続きまして、日程第7、協議事項。

飯伊市町村教育委員会連絡協議会総会について

○教育長（代田昭久） 今月の協議事項、「飯伊市町村教育委員会連絡協議会の総会について」の説明とこの協議をいただきたいと思います。

委員の皆さんにお配りしたこの総会資料をご覧ください。

例年であれば来週の月曜日に総会が行われます。その総会は、飯田下伊那14市町村の全教育委員、教育長が集まっての会議という形で総会を行い決していくわけですが、このようなコロナの状況の中で、総会を全教育委員ではなくて、教育長と教育長職務代理者で実施するということが教育委員会連絡協議会のほうで決定されましたので、この場では総会において承認される事項についてのご確認と承認をお願いしたいというものであります。

ページをめくってください。次第がありますが、私のほうで簡単に議事になる（1）番の令和元年度の事業報告ならび決算について、（2）番の監査報告、（3）番令和2年度の事業計画案・事業予算（案）。（4）番の規約改正、（5）番の役員改選について説明申し上げます。一通り一括してご説明させていただきますので、何かご質問・ご意見等あれば説明の後にご発言をいただければと思います。

まずページをめくってもらって議案審議ではありませんが、飯伊市町村連絡協議会の表彰者ということで6名の委員の皆さんの表彰が決まっています。飯田市からは小澤由美子前教育委員が表彰の対象になっております。ご確認ください。また、飯田市市町村教育委員会の名簿の令和2年5月18日現在ですが以下のようなメンバーになっておりますので、こちらのほうもご確認ください。

続きまして、令和元年度の事業報告をさせていただきます。まず総会ですが、昨年度5月20日に総会を行いました。協議委員会、昨年度は11回の協議委員会を行いました。特に昨年度は、第63回の長野県市町村教育委員会研修会が飯田市で開催されるということで、10年ぶりに回ってきたこの当たり年の中で協議委員会の中でどんな研修会にするのか話し合いを行い実施してきたという経緯があります。その協議会の前に大きなところでいうと、理事会を開催してきました。理事会の開催では7回行っていますが、長野県の研修会と合わせて、昨年度は三遠南信教育サミットが松川で開催されましたので、これについての方向付け等も理事会で行っています。教育長部会、教育長が研修する部会を昨年度は阿智村で行いました。あと監査会、大きくは事業としては5つの事業を行っています。

研究事業としては、研修会、教育長部会研修、三遠南信教育サミットということで3つの研究事業を行っています。研修会では、信州大学の教育学部准教授の渡辺敏明先生に講演をお願いして「最新のスポーツ学から見たこれからの部活動のあり方」ということで子供たちの発達段階におけるスポーツとの適当なあり方についての知識を高めていきました。

教育長部会では、今年度より新しく教科になった英語学習についてということで、実際に全校モジュール英語授業、ICTを活用した英語授業を現地視察をしながら研修を行いました。

また、三遠南信教育サミットでは、基調講演として伊坪達郎先生のほうから「三遠南信をつなぐ交通と人々の暮らし」という地元のテーマで発表していただき、非常に好評を得たかなと考えています。

調査・研究事業というのがこの飯伊市町村連絡協議会であるわけですが、2つのテーマで昨年度行いました。1つは、市町村学校における部活動の方針との現状報告、課題等です。2番目としては、少子化に対応した活力のある学校づくりに向けてということで、飯伊市町村の中で大きな課題である少子化・人口減少、生徒・児童数の減少に対してどんな対応をとっていくのかということ調査・研究してまいりました。

関係団体との連携ということでは、先ほど申し上げましたが、昨年度は大きな連携として長野県の教育委員会研修総会を飯田市で10月11日行いました。この時の基調講演「信州満蒙開拓の歴史から学ぶもの」ということで、満蒙開拓平和記念館館長の寺沢秀文先生にお願いして、これも非常に良い講演が行われ、長野県の各地から来た教育委員の皆さんにも非常に有意義なものだったのではないかなと考えています。

また、この時にはちょうど全国のへき地教育のサミットが行われていました上村小学校と中継をつないで歌を長野県全教育委員の皆さんに披露できるとそんな機会をいただいた

かなど。こちらの小規模特認校の上村の小学校の活動も非常に大きなインパクトを与えたんじゃないかなと思っています。

次ページをめくってください。今までが昨年度の事業でしたが、決算としてはごらんのとおり、収入決算額は4,689,934円、支出決算額としては4,364,289円、残額が325,645円ということで、それぞれの内訳はごらんになっていただきたいと思います。

次のページ、会計監査報告ということで、令和元年度の決算について監査が行われました。監査については、伊藤昇委員が監事になっておりますので、ここにありますように承認していただきました。ことで後ほど一言いただければと思いますのでよろしく願いいたします。

続きまして、今年度、令和2年度の飯伊市町村教育委員会連絡協議会の事業計画案でございます。今年度はコロナウイルス対策のために、この大きなものがどういう形になるか見えないところではありますが、まず会議関係でいうと、総会のほうは5月18日に行う予定ですが、規模を縮小してという形をとりたいと思います。また、研修事業においては7月の17日、愛知県の田原市での三遠南信教育サミット、今のところまだ予定、中止の予定にはなっていないませんが、こちらのほうも今のところはまだ通知がないということでご承知をいただければと思います。

3番目の調査研究事業ですが、今年度は今までずっと調査をして1月・2月の教育委員会の連絡協議会のほうで発表するというスタイルだったんですが、そういう形ではなくて、毎回研修して情報共有をしていこうという新しいスタイルに今年度からしていきたいというふうに考えていて、この2つのテーマ、教育振興研究委員会と調査・研究委員会、それぞれ部活動のあり方とICT、ギガスクールに向けた各自自治体のICT教育の進行状況について調査・研究を継続的に行うというふうに考えています。

あと関連団体の連携、関連団体の運営費等ごらんください。

こういった事業計画に基づいて予算管理ですが、収入予算額は4,478,100円、支出予算額は4,478,100円ということで計画をしております。

今年度、主なところとしては、事業費の中の8番目、教科書用図書採択研究費ということで、今年度は来年度から実施される新しい学習指導要領に対応した中学校の教科書の採択が行われます。こちらのほうで、予算が昨年に引き続きですが例年以上に予算がされていることをご承知いただければと思います。

10ページのほう、基金のほうが備品整備基金積立金476,138円あるということをご承知おきいただければと思います。

13ページに進みまして、飯伊市町村教育委員会連絡協議会規約を改正いたします。規約の

改正は2点です。16 ページにあります。役員任期を4月1日としたいと考えております。役員承認は総会をもって代えていたため5月中旬に役員承認がされると。今までそういう形だったんですが、実際には4月から新しいメンバーで県の委員とか始まっているので、飯田下伊那といくつかを除けば4月から新しいメンバーでいつもやっている中で、第1回と次の委員が違うという日ずれを起こしていた部分を修正しようということで、4月前に役員を決めて4月1日よりというふうにさせていただいています。

15 ページ第14条ごらんください。2番の家庭教育研究委員会、これを削除しています。研究そのものは、3つのテーマで行ってきたわけですが、なかなか忙しい教育委員会ですので、あまりみんな研究に追われていても、本来でないだろうということで本当に必要な調査・研究委員会、特別研究委員会ということで、先ほど申し上げましたが、ICTと部活動とテーマをしぼってしっかりやっとうと考えて家庭教育研究委員会はこの機に削除して行わないようにしていきたいと考えております。

はい、16 ページ17 ページは規約の補足ですのでごらんください。

最後に役員承認ですが、会長のほうが私、副会長のほうが北澤正光教育長職務代理のほうに、今、推薦が上がっている状況で、副会長としては阿智村の教育長が会計をしているという状況ですのでよろしくお願ひいたします。

以上、総会の資料、本当に簡単ですがご説明させていただきました。ご質問、ご意見等あればお願ひします。

はい。

◇教育委員（三浦弥生） お聞きしたいのは今の第14条にある調査・研究委員会、特別委員会つてありますが、これってどういったことを対象に、調査研究は調査、特別研究は特別な研究、どういったこれは、2つ分けになっているのでしょうか、

○教育長（代田昭久） はい。簡単に言うと大きな違いはございません。大きな違いはなくて、教育長と教育長職務代理者があるので2つのテーマでやりましょうということで、便宜上名前がついているに近いんですが、それでも一番の調査・研究にあるように、例えばですが、「各市町村で支援員を何人くらい集めていますか」というようなしっかり調査をして見ましょうとか、いわばそこに調査を前提とするようなものを調査・研究委員会としてきた経緯があります。特別の研究は、やっぱり少し深掘をして研究をしていきたいと思いますというニュアンスがあった研究会かと思ひます。

ただ、この2つ、申し上げているとおり、例えばICTをどちらにしようかと思った時に、それは各学校での普及率、また研修体制、調査的な要素があれば研究的な要素もあります。

じゃあ部活動としても、部活動の支援員を何人入れてますかと、時間はどうしていますかと、調査は必要です。なので、調査と研究そのものは大きな意味合いがなくなってきたという状況ではあります。ので、慣例としてあったというふうに、これ議事録に残せない。

もし職務代理のほうから補足があればお願いします。

◇教育長職務代理者（北澤正光） いえ、ありません。どういうふうに区別するのか自分もよくわかりません。

○教育長（代田昭久） ので、逆にいうとそこは昔から3つあったんですが、さらに家庭教育研究委員会というのがあって、しばらくその家庭研究委員もなかったわけですね。この数年、少なくとも私がいる4年間はやっていないので、少し名前としては形骸化したと、ただ実質的には14の市町村が集まって情報共有をしたりとか、足並みを時には揃えたりとか、力を合わせたりということが非常に必要なので、大事な会議だとは思いますが、名前そのものは大きな違いがないということで。

はい、三浦教育委員お願いします。

◇教育委員（三浦弥生） そしたら、例えば家庭教育のことにに関して、何か調査ですとか何かをしつかり話し合いたいときにはどちらかにそういったことを入れてやればよいという形ではないということでしょうか。

○教育長（代田昭久） そうですね。

◇教育委員（三浦弥生） はい、ありがとうございました。

○教育長（代田昭久） はい。

他にいかがでしょうか。

それでは時間がなくなりましたが、また監査していただきましたのでお礼じゃないですが一言ご報告いただければありますか。

◇教育委員（伊藤 昇） はい。5月8日に合庁におきまして代田会長の下、喬木村の教育長の丸山さんとともに会計監査を行いました。関係諸帳簿等適正に処理されておりましたのでご報告いたします。

以上です。

○教育長（代田昭久） はい、ありがとうございました。

毎年、監事になっていただいていますので、なかなかできない難しい職務をしていただいたことに感謝したいと思います。ありがとうございました。

他に。

上河内教育委員。

◇教育委員（上河内陽子） 昨年の10月にこちらのほうの協議会の長野県市町村教育委員会研修総会に参加させていただき、いろいろ勉強をさせていただいて本当にありがたいなあと思っております。そしてこの市町村の教育委員会連絡協議会ですけれども、やはり今回のようないろいろコロナのいろんな事態になった時などに、こうして連携できるような会合なんだなということで今後また参加を楽しみにしております。

よろしく願いいたします。

○教育長（代田昭久） はい、ありがとうございます。

少し余談になりますが、今年度、既に臨時の飯伊市町村連絡協議会6回開いています。臨時の飯田市の教育委員会と同じように、やはりどうやって情報共有して進んでいこうかってやっぱり各市町村も大変なので情報共有しながら、昨日も行ったわけですが、よりその連絡協議会の意義が高まっているし、重要になっているなど感じています。

他にいかがでしょうか。

よろしいでしょうか。

（発言する者なし）

○教育長（代田昭久） それでは、出席自体、私と北澤職務代理になりますけれども、総会では承認ということで進めていきたいと思っておりますのでご承知おきをよろしく申し上げます。

日程第8 陳情審議

○教育長（代田昭久） 続きまして、日程第8、今月の陳情審議はございません。

日程第9 その他

○教育長（代田昭久） 日程第9 その他。

（1）教育委員報告事項

○教育長（代田昭久） 教育委員報告事項をお願いします。

それぞれの委員の皆さんで、報告事項があれば発言いただければと思います。

はい、上河内教育委員、お願いします。

◇教育委員（上河内陽子） この5月に入ってから周囲の様子なんですけれども、小学校、中学校のほうで分散登校ですとか、臨時的登校が始まりまして、徐々に徐々にちょっとずつその親子の皆さんの中にも学校が始まるんだというその期待感のようなものがあるような現状があると思います。

そうは言ってもずっと家の中にいましたので、子供も大人もちょっと黙っているといいですか、学校に行くにも特別な感じで、えんやと行くっていう感じだと思います。今後、教育長からも報告があったように、やはり生活のリズム等もやっぱりこう夜型になってしまう子供もいると思いますし、どうもその宿題が自分で上手くできないという子供たちもいると思いますので、こういうお子さんと交流を進めながら段々と学校生活に戻って、無事に戻っていけるといいなというふうに願っております。

それにしても心配なのが授業、その確保をできないんじゃないかということで、今年が今年度が3月で終わってしまうとしたら、それまでになんとか中学校3年生や小学校6年生はその教育課程をそこでなんとか終えてくださいというようなことが文部科学省からも言われているというふうに聞いてましたので、それはとても大変なことなんじゃないだろうかというふうに懸念しております。

その中で、本当にありがたいなと感謝しているのは、いろいろ反転授業的なことですか、こういった分散登校の中でいかにして子供たちに学びを保証できるかということを考えていただいていることに心から感謝したいと思います。

いろいろ予算が付いた中でも、飯田市独自の学習教材の作成の配信ということで、確かにタブレットとかで、高校生なんか見るともうスマホなんかで学習用のタブレット学習のコンテンツなんかを引っ張って来て、いろいろ自分でわかりやすいのなんかを見ながらやっているという現状があると思うんですけど、小中学生はまだまだそこまで行ってないので、そういうデジタルでも学習ができることを今後スピーディーにできるとありがたいというふうに思います。

独自の学習教材というところでご質問したいんですけども、独自というとなるととても、もしかしたらすごく大変なことなんじゃないだろうか。ゼロからその教材をつくるというのはすごい労力があって大変なんじゃないだろうかというふうに感じるんです。

例えば、既存のなんか大きな会社とかがつくってるようなコンテンツで良いものがあればそれをちょっと上手く利用させてもらうようなことをしても効率が良いのかなあというふうにも思われるんですが、その独自の学習教材というふうにするというのは何かそういった希望ってうか、こういうのをつくりたいというような目標があるんでしょうか。

○教育長（代田昭久） はい、ありがとうございました。

ただいまの質問。もし事務局のほうでわかれば。

はい、桑原学校教育課長お願いします。

◎学校教育課長（桑原 隆） 先ほどの教育長の話の中であった飯田市独自の学習教材の作成・配

信ですが、これ具体的には、3枚目のホッチキス止めの資料の右下の下のところ、四角の中における具体的な取り組みで（1）で学習教材の図書、学習教材は特に有効活用というのは既存にあるものということになる。その下の（2）飯田市独自の学習教材の作成や配信。これは具体的には、英語の教育主導主事、それからALTの先生たちが実際に英語の番組といますか、学年、小学校、中学校においても内容はもちろん変わってくるんですけども、その中で番組と言いますか、授業と言いますか、放送できるものを作成して、それをケーブルテレビあるいはFM放送で流そうということで、まさしく独自に作成して配信していこうというふうに計画をしています。

◇教育委員（上河内陽子） はい、わかりました。飯田市独自で、知った先生がやったださるっていうのも子供たちにとっては良いかと思えますし、いろいろなコンテンツなんか、今、世の中にも出ているので、そういうのも上手く利用されると効率的でできるのかもしれないので、その辺を臨機応変にやっていただけたら良いかなというふうにご期待をしております。ありがとうございます。

○教育長（代田昭久） はい、ありがとうございます。

はい、三浦教育委員、お願いします。

◇教育委員（三浦弥生） それでは、今の上河内教育委員の内容とちょっと似たようなところのご質問をさせていただきます。

本当にコロナの対策に関しては、緊急時の短いスパンで本当にいろいろな対応を本当にしていただいて感謝いたします。もう1つは長いスパンでのということでは、こういったオンラインを使えるように、またはいろいろ配信できるもの、教材をいろいろなところで準備するということでも予算措置もしていただけるということでありがたいなと思います。

資料を見させていただいて思ったところでいくと、配信をするということは、一方通行的なそういったものに関するそういった教材のあり方かなと思いますけれども、通信を受ける側の環境整備ということもあるので、なかなか難しいとは思いますが、長いスパンでみた時に、そういった遠隔授業というような形のものを、いずれこの次に構築していくとかそういうような、もしお考えとかあればお聞きしたいなと思いました。

○教育長（代田昭久） はい、ありがとうございます。

桑原学校教育課長、お願いします。

◎学校教育課長（桑原 隆） はい、長いスパンでというようなお話をさせていただきましたけれども、必要なタブレット1人1台端末に向けての整備と合わせて、ここでは限定的って書いてありますが、ウェブカメラとかマイクっていうのも整備していこうという補正予算になって

おります。

1人1台の端末になった時には、まずはまだ学校でも使うんですけど、家庭へ持ち帰って使えるような、すぐに使えるようなそんなにすごい、先生も時間のない中で研修もそんなに進まない中でのということですので、今まで竜東地区とかで視察等していた授業での使い方ではなくて、も、もちろんあるんですけども、1人1台端末になったっていうことで、すぐにそのタブレットが活用できるようなやり方っていうのから始めていこうということになっていくと思います。ですので、今、家庭学習に使ったり、ドリルというような使い方もあるかもしれませんが、そんなことが始まってということになると思います。

それで遠隔授業ってということになりますと、竜東で見たような授業を遠隔でやるということですので、やるほうも、それから学習を受けるほうも、それなりの知識とか経験とかっていうのが必要になってくるってことで、本来でしたらああいう授業をやるような研修を積んでって徐々に台数も増やしてってというようなことを考えていたところなんですけど、ちょっと方向を変えてっていう状況でございますので、遠隔授業というところとちょっとなかなかハードルが高いのかなということにはなるかと思いますが、そこも目指していくってということには、なるかなというふうには思っております。

○教育長（代田昭久） はい、三浦教育委員お願いします。

◇教育委員（三浦弥生） ありがとうございます。このコロナのこの期間といった、本当感じていたところが、そういった遠隔の授業であるとか、そういった使い方が教育環境においても、社会環境においても本当に当たり前になってくるような、そういったこれから時代になってくるのかなとちょっと思ったところです。

ですので、本当に子供たちもそういうのに、先生方にもそういうのに慣れていただくとともに、子供たちも、もう本当にこれから例えば同じようなことがあった時に、簡単に遠隔授業の操作等ができると、そういったものが今の子供たちの教育には必要なんじゃないかななんて思うところがありましてお聞きしたところです。

考えていっていただくということでありがとうございます。

○教育長（代田昭久） はい、ありがとうございます。

他にどうでしょうか。

はい、伊藤教育委員、お願いします。

◇教育委員（伊藤 昇） まずお聞きしたいんですけども、小学校一年生はどんな感じなのかということなんですけれども。と言いますのは、二年生以上は学校生活少なくとも1年以上経験しておられるんですけども、入学式から以降は、授業らしい授業が学校ではできてないという

ことで、すべて心配なんですけれども、小学校一年生が特に私は一番心配かなと。

学校生活、もちろん授業のスタイルっていうか、全然わかってない状態で、飯田市だけじゃなくてすべてはそうなんですけれども、やっぱりここが一番気になる場所だと思います。

あと、中学は受験を控えておる中学三年とか、そういうところがポイントと言っておりますけど、もちろんそれはやり方があることだと思います。テレビでちょっと見た時に、今、家にいる時にその母親がたまたま小学校の先生であって、ご主人が家には小学校の先生がいるから安心だって言ったら、とんでもない話で母親でも自分の子供、全然小学校一年生は教えられないと、学校ならなんとかなるが、教室の中では教えられるだろうけれども、家の中では全然甘えが入っちゃって何にもできないと、そういうのをちょっと見ましたので、小学校一年生はおそらく学校生活、授業自体が全然わからないままでこのままきいているというのは一番心配だなと、そういうふうに思いました。

○教育長（代田昭久） はい。

じゃあ、そうですね。今、先ほど言いました学校訪問をしていく中で、例えば今日ですが松尾小学校に行ってみりました。で、初めての一年生の本格的な授業がようやく始まったっていうんですけれども、やはり授業が始まる前に、私、これは素晴らしいなと思ったのは、「ファイルこっちにあるんだよ」とか、その授業の進め方、集団生活のあり方もやっぱり丁寧に教えているなあというところから、そこから入っているなあというふうに思いました。

ただおっしゃるように、順序がもう2カ月間やってないので、その、その辺を焦って授業をするというよりは、そういうところから着実に進めていくところはありがたいかなというふうに思います。

もう一点、学校が特に心配しているのは学校の登下校なんです。その部分は各学校も分散登校ほとんど地区ごとにしていて、子供たちの行き帰りのやっぱり安全の確保をしながらやるということも進んでいるので、もちろん、心配でこれは多分本当に、特に小学校一年は大事なところですが、現実、先生方が一生懸命やっただいていてという現状はあるというところかなと思います。もし北澤教育長職務代理者何かあれば。

◇教育長職務代理者（北澤正光） さすがは学校の先生方だなあと、今日も行って思ったのは、小1で今まで何回授業をやったか、子供と触れ合ったかわからないんですけど、先生方は一人一人のお子さんの名前をもう全部覚えていて、今日も一人一人の名前を呼んで起立をさせて、今、起立した皆さんのファイルはこっち側に置いてありますよ。呼ばれなかった人たちのファイルはこっち側に置いてあるんだよというようなどころからやっていて、「子供の名前を全部覚えて確実に顔と一致しているといったようなところはすごいなあ」と思いながら見て

きました。

もう平仮名の学習にも入っていて、今日は「そ」、基本的にはそのクラス、その学年全部が「そ」を勉強して、その後、「えんそく」といった語を単語として書くような学習をどのクラスも揃ってやっていました。先生方も配慮をされながら順調に進んでいるなっていうふうに思いました。

◇教育委員（伊藤 昇） はい、ありがとうございます。そのお話しましたけれども、やはり学校でもそういう雰囲気の中で先生も心得ていて、小学校一年生もそれなりに授業を受けられるのかなと思いました。ありがとうございます。

○教育長（代田昭久） はい、北澤教育長職務代理者。

◇教育長職務代理者（北澤正光） 今回の委員の皆さんと重なりますが、今後へ向けての心配事って言いますか、みんなで配慮しておかなければいけない細かい事にもわたるんですけど、教育長と一緒に学校訪問させていただいて、4月の終わり頃、10 幾日から始まったんですかね。今日で 23 校近く回っているんですけど、当初は学校行っても子供がいない状況の訪問だったんですけど、その後様々に経過してきて、例えば今日なんか何うと、月曜日もそうですけど、分散登校ではあるけれど、全部の教室に子供たちがいて、先生と一緒に学びの場が生まれているというので、やっぱり学校らしいというか、学校に魂が入ってきたなあって感じる雰囲気で進んでいました。

さっき上河内教育委員から「生活リズムをまず取り戻せ」という話があったんですけど、そういう意味では分散で、ちょっと少人数で、しかも半日っていう設定なので、子供にとってもしばらく休んでいたところから立ち上がっていくには負担が軽減されて、本来の通常の学校生活へいく橋渡しとしてはとってもいい場面になってるんじゃないかなあといいながら見てきました。

一クラスではあるが、分散されているわけで、それぞれ学校ごとに工夫をされていて、次のグループの人たちに付箋を書いて、誰もいないんだけど次に来る子供たちへ要はお手紙を渡しているとか、黒板に昨日のグループが今日のグループ宛に「僕たちこんなことをやったよ」ということが、今日も松尾小の五年生でしたかね。教室の中に、例えば書かれているとか、というようなことで「つながり」がとっても大事だという話があったんですけど、そういう同じクラスの子供同士のつながりといったようなところを、分散しているがゆえに感じられるような工夫をしたりして、さすがだなと思いついてきたところなんです。

平常へ段々戻っていくには、多分ステップを1つずつ踏んでくしかないのかなというふうに思ったんですけど、今後に向けてのことというのと、クリアしていかなければいけないもの

がいっぱいあるんですけど、1つは給食が、人数が少ない学校はいいと思うんですけど、1クラスが35人とか、今日もお聞きすると先生も入れると38人になるっていうような教室もあると聞いた時に、どんなふうにしていくのか、3蜜を避ける条件をやっていくと、なかなか市内には厳しい教室があるなということが1つ。それから中学の部活動、活動自体を再開するかどうかは別にして、特に中学三年生ですかね。いろんな大会がなくなってしまっている状況の中で、でも3年間やってきた活動の最後の「一応、自分たちはやったぞ」っていう締めくくりをどういう状況でつけてあげると、その次へ向かっていくのになんかエネルギーが沸かせられるというか、モチベーションが保てる状態で終わりにしてあげられるのかっていうのを、これは教育委員会だけじゃないんですけど、学校も私たちも考えていかなければいけないことなのかなあと思いました。

さらには、どうしても授業日数がある程度、確保するってなると、夏休みなどの活用をどの程度どこまでしていくのかっていうことも近いところでは大きな問題ではないか。

それから、宿泊行事。宿泊を伴う行事が計画されてほとんどの学校が、今、2学期へ延期っていう形で先延ばししている状態ですが、今後の動きで本当に実施できるのか、そのままなくなってしまうのかという辺りのこととか、考えていくときりがないんだけど、そういうようなところを今後、さっき教育長の報告で一番最初に「しゃくとり虫のように」って書いてありましたけど、まさにそうやって考えながら一歩ずつやっていかないといけないということを思いました。

最後に1つだけ、今日も行った学校のある三年生の教室ですかね。もう単元テストをやっているんですよ。算数の。要するに1単元が終わったという先生の理解でやっているのですが、分散登校中のこの時期に本当にやることなのかなってちょっと疑問に思いながら教室を後にしました。

他の学校の教室でも、本当にとことん教えたっていう状況になっていないような時にテストだけ、確認の単元テストのようなものを設定するのはいかがかなって、もちろん一番現場で先生がわかってらっしゃると思うんですが、でも子供の心情とか保護者の心情とかいろんなことから考えた時、十分教えてもらったという認識がない中で、確認のための単元テストが行われるっていうのは、ちょっと辛いなっていう思いを自分は感じて、少し違和感を持ったことがあって、校長会等でも発信して、配慮していただく必要があるのかなあと思いました。

以上です。

○教育長（代田昭久） はい、ありがとうございました。

委員の皆さんの発言ありがとうございました。

それぞれで何かまたご質問ありますでしょうか。

(発言する者なし)

○教育長（代田昭久） いずれにしる冒頭に申し上げましたけれども、様々な視点でまたお知らせをしていただきたいと思いますし、感じていることをこういう場で共有してですね、つなげていきたいと思っておりますのでよろしく願いいたします。

どうも、ありがとうございました。

(2) 教育次長報告事項

○教育長（代田昭久） 日程第9、(2)番「教育次長及び地域人育成担当参事報告事項」お願いします。

◎教育次長（今村和男） ありません。

◎地域人育成担当参事（青木 純） ありません。

(3) 学校教育課報告事項

○教育長（代田昭久） (3)番「学校教育課報告事項」お願いします。

湯本学校教育専門幹、お願いします。

◎学校教育専門幹（湯本正芳） それではお願いします。

別綴になっております令和2年度特色ある学校行事・公開授業等の一覧の冊子をごらんください。ここに各学校から今年度行われる学校行事、公開授業等を出していただいております。丸山小学校のところを例にとってみますと、お分かりになるかと思っておりますけれども、1学期の初めに掲載しているものは、ほとんどが実施未定ですとか、2学期の平日に開催とか先送りになっています。なかなか先程から話題になっているように行事、学校自体が始まってない段階ですので、計画どおりできてないというのが現状であります。それを年間の中で何を大事にして何をカットしていくかっていうことが学校に投げかけられることになりますけれども、それぞれ大事にしているものを各学校で考えていただいていると、授業だけではなくてやっぱり特色のあるものが学校でそれぞれの子どもたちを育てることにつながっていきますので、バランスというものをよく考えていただいて、実施していただくところを校長会等でお願いしていきたいなと思っております。

ごらんいただければと思います。

以上でございます。

○教育長（代田昭久） はい、ありがとうございました。

(4) 生涯学習・スポーツ課関係報告事項

○教育長（代田昭久） 続いて「生涯学習・スポーツ課関係報告事項」をお願いします。

青木地域人育成担当参事、お願いします。

◎地域人育成担当参事（青木 純） プレスリリースということで、お配りしていますが、学校の休校等によって運動不足が心配されている子供たちのためということで、幼稚園・保育園から小学校低学年・中学年を対象とした 10 分間の番組といたしまして、ケーブルテレビで今月いっぱい、1日3回放送される予定でございます。

5月の2日から放送されているものでございまして、内容はパプリカのダンスと親子体操ということで、教育長と長野県体育センターの蓑輪先生と飯田市スポーツ推進委員の方々に務めていただいております。

コロナということで運動不足は、スポーツ推進委員の方々による対応を相談させていただいているところですが、教育委員の皆様にも随時ご意見をいただけたらと思いますので、どうぞよろしくをお願いします。

以上であります。

○教育長（代田昭久） はい、ありがとうございました。

(5) 公民館関係報告事項

○教育長（代田昭久） 続いて、「公民館関係報告事項」をお願いします。

秦野市公民館副館長、お願いします。

◎市公民館副館長（秦野高彦） 今日お配りしましたチラシをご覧いただきたいと思います。現在、公民館では「公民館からのクイズに挑戦しよう」ということで、主に地区にまつわるクイズをホームページ上に公開しておりまして、お子様から大人までどなたでも挑戦できるということで、自宅で学べるということで展開しております。

内容につきましては、各地区で発刊されたふるさと教材や各地区のホームページ等をヒントにお答えをいただくという形で学べるようにしております。

ぜひ多くの方に見ていただきたいと思います。

よろしく願いいたします。

○教育長（代田昭久） はい、ありがとうございました。

(6) 文化会館関係報告事項

○教育長（代田昭久） 続いて、「文化会館関係報告事項」をお願いします。

棚田文化会館館長、お願いします。

◎文化会館長（棚田昭彦） それでは資料のほうナンバー1のほうをごらんいただきたいと思
います。

「人形劇のまちづくり」の取り組みですが、報告になります。資料の1番の公演事業や2
番の創造支援事業等については、コロナ対策、感染拡大防止のために中止となっていますの
で省略します。

3番のいいだ人形劇フェスタにつきましては、4月28日に中止ということで報告させて
いただいております。

4番ですが、現在、人形劇についても情報発信としまして、いいだtube、TVなんです
が、この芸能文化動画情報サイトを使いまして人形劇の情報発信をしております。web
につきましては市の広報等を通じてこのwebを紹介しながら人形劇の情報も発信してい
きたいと思っております。

以上であります。

○教育長（代田昭久） はい、ありがとうございました。

（7）図書館関係報告事業

○教育長（代田昭久） 続いて、「図書館関係報告事項」をお願いします。

瀧本中央図書館館長、お願いします。

◎中央図書館長（瀧本明子） お願いします。4月からの図書館の利用の様子などをちょっとお話
させていただきたいと思います。

図書館では貸し出しと返却を中央、鼎、上郷図書館では継続をさせていただいている状況
でありまして、ただ、館内に長く滞在はしていただけないということで、館内は閲覧のため
の椅子などはすべて撤去していて、新聞をごらんになったりという、普段図書館の中でゆっ
くり過ごすという方はお見えになっておりませんので、図書館の入館した数は今年の4月と
今年の4月を比べますと約7割になっております。お家で本を読んでもいただくために図書館
を開館しているということなんですけれども、貸し出しの利用の数を去年の4月と比べます
と97から98%ということであまり変化がなくて人は減ってはいるんですけれども、本を借
りの方は、昨年と同じように借りに来ていただいてお家で本を読んでもいただいているとい
う状況だということがわかりました。

今月の末から分館のほうも開館になるという予定になっておりますので、現在、分館のほ

うにもカウンターに飛沫感染の防止のためのシートを設置したり、返ってきた本はすべて拭くようにしていますので、そのための消毒液なども準備を進めているところでございます。

以上です。

○教育長（代田昭久） はい、ありがとうございました。

（８）美術博物館関係報告事項

○教育長（代田昭久） 続きまして、「美術博物館関係報告事項」をお願いします。

久保敷美術博物館副館長、お願いします。

◎美術博物館副館長（久保敷武康） 美術博物館ですけれども、現在休館中ということで、6月の開館に向けて準備をしているところです。本日、水色の紙で6月の「びはくにゅーす」をお配りさせていただいております。4月・5月、例年のイベントや講座等が開けなかったということで、6月からは開館に合わせて少し形は変わるかもしれませんが、なんとか事業はやっていこうということで計画をしておりますのでよろしくお願いたします。

以上です。

○教育長（代田昭久） はい、ありがとうございました。

（９）歴史研究所関係報告事項

○教育長（代田昭久） 続いて、「歴史研究所関係報告事項」をお願いします。

北原歴史研究所副所長、お願いします。

◎歴史研究所副所長（北原香子） 歴史研究所から報告させていただきます。

5月は休所でしたので、講座、ゼミは全部休止しております。今後の状況によりまして判断をして来月から始められるものは始めていきたいと思っております。

現在休所中ではございますけれども、電話での書籍の注文等は承っております。注文があった場合には、発送をさせていただいておるような状況でございます。

7月、飯田アカデミアを予定しておりますが、若干、今後の不安もありますので、準備は進めながらも中止ということも見据えながら粛々と準備を進めていきたいと思っております。

以上です。

○教育長（代田昭久） はい、ありがとうございました。

ただいま学校教育課から歴史研究所までの報告事項がありましたが、これに関して質問、またご意見等がありますでしょうか。

はい、桑原学校教育課長、お願いします。

◎学校教育課長（桑原 隆） はい、先ほどの飯田市結核対策委員会の昨年度の具体的な取り組みについて口頭で申し訳ございませんが、報告をさせていただきます。

学校からの子供たちの内科検診とか、問診票等の結果から精密検査が必要な該当があるかどうかというのを委員会を開催して判断をしているというのが主な内容ということになります。

委員会につきましては、年1回の開催でございました。

昨年度の実績といたしますと、委員会のほうでは36人分の調査を実施いたしまして、その内7人につきまして精密検査が必要というふうに判断をしたという状況でございます。

以上でございます。よろしくお願いたします。

○教育長（代田昭久） はい、ありがとうございました。

伊藤教育委員、よろしいでしょうか。

◇教育委員（伊藤 昇） はい、ありがとうございました。

○教育長（代田昭久） ありがとうございます。

他にご質問、ご意見等ありますでしょうか。

よろしいでしょうか。

（発言する者なし）

（10）今後の日程について

○教育長（代田昭久） それでは、今後の日程についてお願いします。

滝沢学校教育課長補佐、お願いします。

◎学校教育課長補佐（滝沢拓洋） それでは、本日の資料の3ページをごらんいただきたいと思えます。今後の予定につきまして、主なものについて記載をさせていただきます。

6月11日に今年度の第1回の飯田市小中連携・一貫教育推進委員会を開催する予定でございますので、お時間がありましたら教育委員の皆さんも出席をお願いしたいと思います。

6月の定例会は16日火曜日を予定しておりますので、よろしくお願したいと思います。

以上です。

○教育長（代田昭久） はい、ありがとうございました。

ただいま、今後の日程についての説明がりましたが、ご意見、質問等ありますでしょうか。よろしいでしょうか。

（発言する者なし）

○教育長（代田昭久） それでは、本日予定されていた議案等以上になりますが、その他でご発言
等ある方はいらっしゃればお願いします。

よろしいでしょうか。

（発言する者なし）

日程第10 閉 会

○教育長（代田昭久） それでは、日程第10。以上をもちまして、令和2年度5月の教育委員会定
例会を閉じさせていただきます。

本日もどうもありがとうございました。

閉 会 午後4時26分